

3-2. NBミーティング、市民などへの取組み

(1)「NBミーティング」の活動支援

1) 取組みのポイント

NBミーティングは会員数に対し定例会参加者数が年々減少傾向にあり、活発な議論や意見交換が難しい状況となっている。また、NBミーティングの位置づけなどの議論が多くなっている。

そこで、今年度はNBミーティングの目的など基礎的な部分や今後の方向性について共有化を図り、会員を増やす事について検討を進めるなど組織として機能できるような基礎固めに重点を置いた取組みを進めるものとする。

2) 主な取組み

【取組み成果】

●活動方針の共通認識を図る事ができた。

- ・NBミーティング発足の原点に立ち戻って組織の目的を再確認した上で、跡地利用に対する市民の声を多く受けてとりまとめを行い、跡地利用計画に対して情報発信を行うという共通認識を図る事ができた。
- ・今後の取組み等について意見交換を行っていき中、会員の増員を目指して、会員が主体的に広報活動計画を立て進めていく事が決定するなど、メンバーの主体性向上にも繋がった。

●企画を検討し実施する中で、学生や市民と交流し、出てきた意見を集約する事ができた。

- ・NBミーティングが主体的に検討・実施した企画の中で、市民や学生と普天間飛行場の跡地利用に関して意見交換を行った。また、企画に参加した大学生が、定例会に参加して意見交換を行い、メンバーと共に企画のための現地視察を行うなど交流が図られた。
- ・更に、企画やフィールドワークを通して得た「市民の声」について、NBミーティングとして集約を行う事ができた。



写真：定例会のようす①



写真：定例会のようす②

3) 取組みスケジュール

No	開催日	主な活動内容
1	4 月 19 日	・平成 27 年度の振り返りと今年度の活動 ・NBミーティングの方針
2	5 月 17 日	・これまでの活動を通してよかったことと改善が必要なこと ・NBミーティングの方針
3	6 月 21 日	・年間活動計画案 ・NBミーティングの目的 ・活動のアウトプットの考え方
4	7 月 19 日	・「普天間飛行場の過去と未来の語り場」企画内容検討
5	8 月 9 日	・琉球大学学生研究発表視聴 ・「普天間飛行場の過去と未来の語り場」企画内容検討
6	9 月 20 日	・「普天間飛行場の過去と未来の語り場」企画内容最終確認 ・これまでの活動を通してよかったことと改善が必要なこと
7	10 月 18 日	・普天間飛行場の過去と未来の語り場まとめ ・NBミーティング組織の在り方① ・「NBMまちづくり分科会」企画内容検討
8	11 月 15 日	・「NBMまちづくり分科会」企画内容検討
9	12 月 27 日	・「NBMまちづくり分科会」企画内容検討 ・NBミーティング組織の在り方②
10	1 月 17 日	・NBミーティング組織の在り方 ・「NBMまちづくり分科会」企画内容検討
11	2 月 21 日	・「NBMまちづくり分科会」企画内容最終確認 ・NBミーティング組織の在り方 ・広報活動の実施検討
12	3 月 21 日	・今年度の活動の振り返りと成果 ・次年度以降の取組み

4) 過去と未来の語り場

- 開催日時：平成 28 年 9 月 24 日（土） 14：00～16：30
- 開催場所：宜野湾区公民館
- 内 容：①NBミーティング紹介
②P V視聴会及び講演会
③座談会（3グループに分かれて宜野湾市の未来のまちづくりについて考える）
（アンケート実施）
- 参加者：31 名（NB ミーティング、若手の会、宜野湾市民、有識者、大学生 等）

①当日のようす



写真：NBミーティング紹介のようす



写真：講演会のようす



写真：グループ内座談会のようす①



写真：グループ内座談会のようす②



写真：まとめ発表のようす①



写真：まとめ発表のようす②

②各グループのまとめ

【青グループのまとめ】

- ・ 昔の話を聞いて、昔なりの良さを活かしつつ、跡地利用をするにあたって、過去のコミュニティを復活させて形成できたらよいと思う。
- ・ 現在ある基地周辺のコミュニティとどう付き合っていくかが大切な1つの問題点である為、今後考えていかななくてはいけない。
- ・ 跡地利用に関しては、土地区画整理やどう利用していくべきかが意見として出てきた。医療として発展していきたい、並木道を再現したいといった意見もあり、過去と現在の需要、便利さを求める事をどこまでバランスを保つのか今後のまちづくりに必要になってくる。

【黄グループのまとめ】

- ・ 歴史・文化を通し、地域の結びつきが非常に強い地域だという事を教えて頂いた。
- ・ コミュニティを形成し、字宜野湾だった事を伺った。戦後、戦争によって困った事や、現在の住民、郷友会、自治会の先輩達が頑張って行事を再現し復活している事を聞く事が出来た。
- ・ 歴史、文化、自然等を残し継承、再現しつつ地主の経済的な支えにも貢献できて、字宜野湾は大きくなってきて、沢山の住民が集まっているので、県内、県外、世界からたくさんの方が集まってきて、助け合っていけるコミュニティが作れるような跡地利用に繋がればよいと思う。

【緑グループのまとめ】

- ・ コミュニティと歴史、自然、景観、道路とまちの4つの意見がでた。
- ・ コミュニティの場として、講演会の映像にもあった綱引きの行事、ガマなど、昔は基地の中は静かなまちだったという事でコミュニティの場があげられている。現在は綱引きも復活し、未来の観光資源として活かしていけたらよいと思う。
- ・ 普天間基地があった事を映像で残し、施設、PR もしていく話が出た。
- ・ 文化財と自然の湧水のウブガーが宜野湾区にあったという事で、地下水、湧き水、基地フェンス内の緑地が豊富に残っている為、活用する事を考えてはどうか。
- ・ 並松街道が昔は那覇から普天間神宮まで続いていた。那覇と普天間を結ぶ並松街道が交通の大動脈だったと思われる為、並松街道の復元。並松街道沿いに学校、役所、病院、郵便局が集中してあった為、並松街道の持っている土地のポテンシャルを活かした復元を考えていった方がよい。

③NBミーティングとしてのまとめ

【コミュニティ】

過去の行事（綱引きなど）を継承しながらコミュニティを育み、返還後の基地と周辺地域のコミュニティをどう付き合っていくかが大切な問題点であり、公園や学区で繋ぐなど、跡地と隣接する地域一体として NB ミーティングの中で今後考えていく事も一つと考える。

【並松】

並松街道については、計画上も「並松街道の再生」として挙げられている。並松街道沿いは昔役所などが配置された要所となっており、その背景を調査し、並松街道と公園及び基地外へと繋ぐ連続性のほか、香木の植樹など公園に求めるものなどを NB ミーティングとして考えていく。

【当時を知る人の意見を聞く】

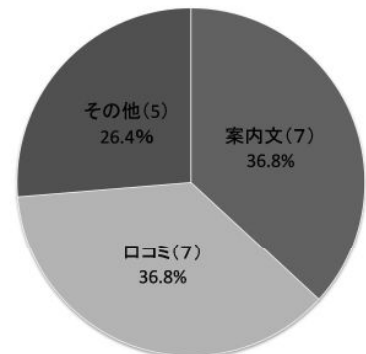
当時を知る人の話を聞く事で、現在立ち入る事が出来ない基地内の環境をイメージする事ができた。また、接收後何十年と経過している為、若者や、年配の方の記憶の中では基地というイメージが定着し、過去に集落が存在していたという事まで考えない。そこで、人の声で当時の集落の存在を伝える事で、生活地として身近に感じられ、跡地利用についても考えさせるきっかけに繋がると考える。今後もNBミーティングとして当時を知る人等を招いた企画等を継続的に行い、一般市民の啓発活動としての位置づけで考えていく。

④イベント終了後のアンケート

1. 座談会についての情報入手方法を教えてください。

- ①. 市報 ②. 口コミ ③. フェイスブック ④. その他 ()

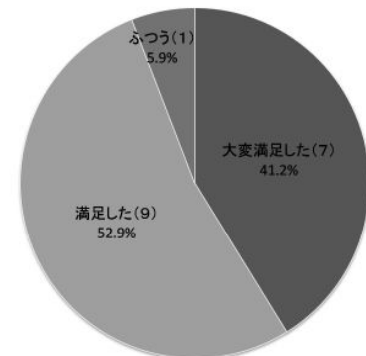
選択肢	回答数	構成比
案内文	7	36.8%
口コミ	7	36.8%
その他	5	26.3%
無回答	0	-
計	19	100.0%



2. 座談会の満足度について教えてください。

- ①. 大変満足した ②. 満足した ③. ふつう ④. やや不満 ⑤. 不満

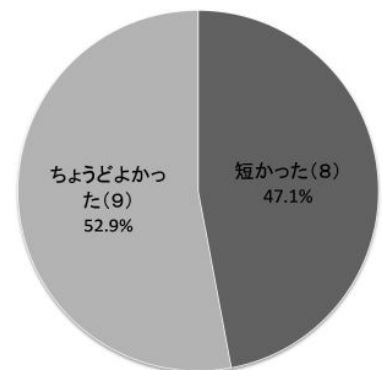
選択肢	回答数	構成比
大変満足した	7	41.2%
満足した	9	52.9%
ふつう	1	5.9%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	0	-
計	17	100.0%



3. 座談会の時間について教えてください。

- ①. 短かった ②. ちょうどよかった ③. 長かった

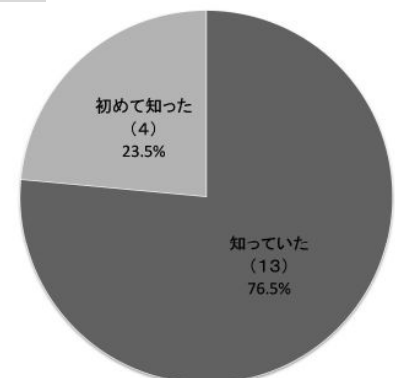
選択肢	回答数	構成比
短かった	8	47.1%
ちょうどよかった	9	52.9%
長かった	0	0.0%
無回答	0	-
計	17	100.0%



4. 「ねたてのまちベースミーティング」(NBM)をご存知でしたか。

- ①. 知っていた ②. 初めて知った

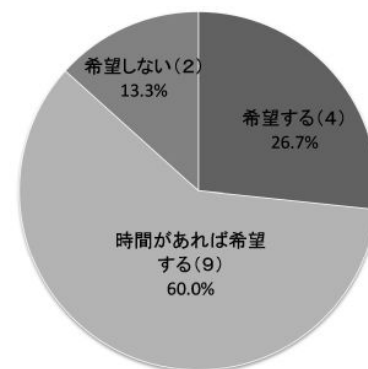
選択肢	回答数	構成比
初めて知った	4	23.5%
知っていた	13	76.5%
無回答	0	-
計	17	100.0%



5. 「ねたてのまちベースミーティング」の会議に参加（見学）を希望しますか。

①. 希望する ②時間があれば希望する ③. 希望しない（理由： ）

選択肢	回答数	構成比
希望する	4	26.7%
時間があれば希望する	9	60.0%
希望しない	2	13.3%
無回答	2	—
計	17	100.0%



6. 意見・感想をご自由にお書きください。

- ・今回参加してみて、本当に良い機会になった。生まれも育ちも違う地域だけど、普天間基地の歴史や文化等初めて知る事も多く、興味・関心が湧いた。また直接地元の方からお話を聞く事で、色々な背景が見え、視野が広がった。自分の住んでいる地域の事ももっと知りたいと思った。
- ・定期的に継続して企画してほしい。
- ・若い人の意見をよく参考にした街作りをする事が大切だと思う。
- ・世代の違う人たちで、跡地利用について話し合えたのは貴重だった。
- ・13字の内、大部落（神山、大山区・・・）へと繋げてほしい。
- ・戦前の普天間飛行場の様子を実際の証言をまとめた内容を見て、聞く事ができたので非常に勉強になった。
- ・宜野湾区の良さを知る事ができて良かった。歴史を重んじる事が大事であり、それを尊重した都市開発をすべきと思った。若い人が積極的に発言できる機会を。
- ・参加者が少ないように思えた。是非、市内の行政区でやってほしい。

(2) 若い世代間での意見交換会や討論会等のイベントの開催

1) 取組みのポイント

跡地利用に対する市民の関心向上を図るきっかけづくりとして、「市民が参加しやすい取組み方法・手段を考える」事をテーマとした「NBMまちづくり分科会」を開催し、市民の跡地利用に対する関心の醸成を図る事と併せ、NBミーティングの活動周知及び新規メンバー獲得を図る。

2) 事前研修

【1回目】

○開催日時：平成29年2月1日（水） 18：30～21：00

○開催場所：宜野湾市役所別館3階第一会議室

○内 容：①NBミーティングの紹介

②普天間飛行場跡地利用計画に係る取組み状況の説明

③座談会（大学生が普天間飛行場跡地のまちづくりを考えることの意義）

○参加者：9名（大学生4名、分野関係者5名）

【2回目】

○開催日時：平成29年2月11日（土） 13：00～15：00

○開催場所：宜野湾市役所別館3階第一会議室

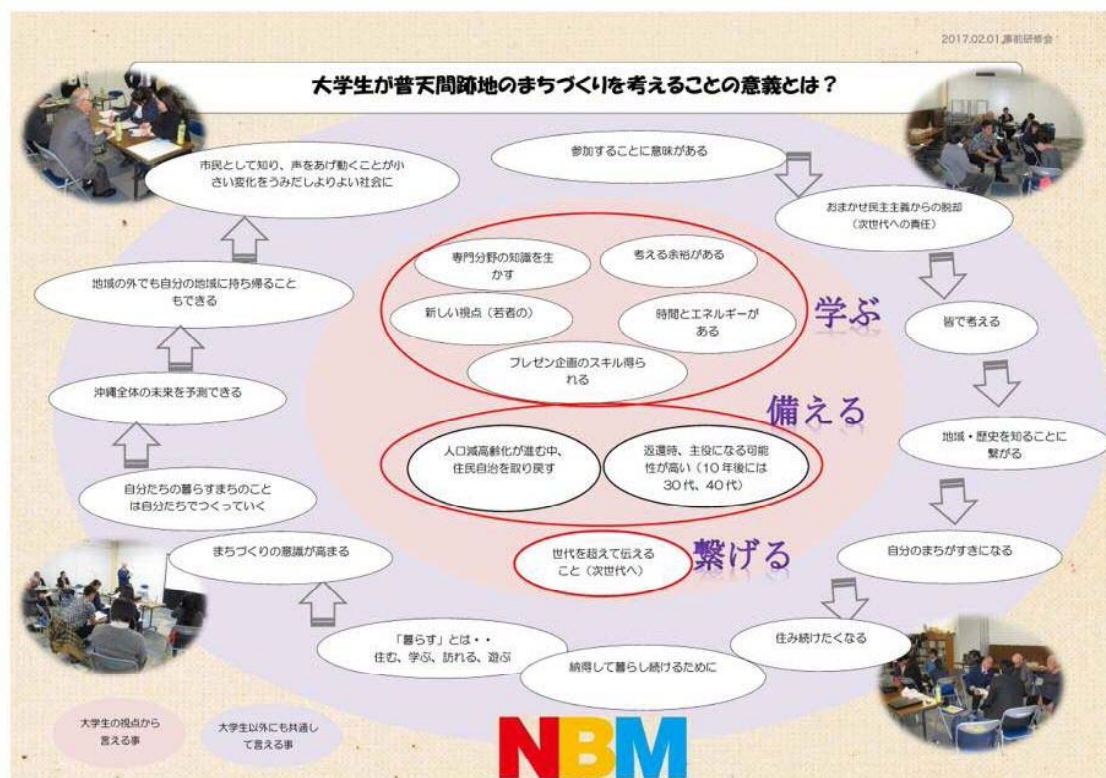
○内 容：①NBミーティングの紹介

②普天間飛行場跡地利用計画に係る取組み状況の説明

③分野代表学生から素案発表

④分野毎で意見交換

○参加者：13名（大学生5名、分野関係者8名）



図：「大学生が普天跡地のまちづくりを考えることの意義」取りまとめ表（事前研修1回目）



写真：NBミーティング紹介のようす（事前研修2回目）



写真：提案発表のようす（事前研修2回目）



写真：提案発表のようす（事前研修2回目）



写真：分野関係者からアドバイスを受けるようす（事前研修2回目）

3) 開催概要

- 開催日時：平成 29 年 2 月 25 日（土） 13：00～17：00
- 開催場所：宜野湾市社会福祉センター
- 内 容：①普天間飛行場跡地利用計画に係る取組み状況の説明
②各分野代表学生による提案（9 名）
③大学生の提案に対して分野別参加者を交えたディスカッション
- 参 加 者：31 名（大学生 9 名、一般参加者 22 名）



写真：NBミーティング紹介のようす



写真：提案発表のようす



写真：分科会のようす①



写真：分科会のようす②



写真：分科会を通じた
提案発表のようす



写真：他分野参加者との意見交換のようす

2017年2月25日(土曜日) まちづくり新聞

NBM まちづくり分科会

福祉

「普天間基地周辺を、NBM通して市民の皆さんにも参加して欲しい。屋舎長の挨拶で幕を開けた今回のNBMまちづくり分科会。若者が跡地利用へ参加し意見を発することにより、一般市民の跡地利用への参加を促進することを目的として開かれたこの企画は、これで3回目の開催となる。今回は福祉・景観・歴史・自然・観光の5つの分野から跡地利用計画に市民参加を促すための取り組みを大学生が提案。その案を基に有識者やオプザーバーの方たちと熱い議論を交わした。



お 菓子を手元に抱え、和やかな雰囲気の中で議論が始まった。大学生の案を基に、どうやったら市民を跡地利用やまちづくりに参加してもらえるのか、専門分野の方、市民、大学生など参加者それぞれの視点から議論を展開。取り組みの効果など前向きな話が一番盛り上がり、(福祉)照屋裕太(琉大)最後の質疑応答では具体的な質問や新しい提案、課題などいろいろな分野から言葉が飛び交い白熱した。



3 年目の実施となり、場の雰囲気や意見交換も質の高い回となった今回のNBMミーティング。大学生と専門家や参加者が世代を超えて積極的に、真剣に話し合う姿が印象的でした。知識や経験に優れた方々、斬新なアイデアを持ち込む大学生。いろいろな視点で行われた議論を見てみると、「ねたてのまち」をより良い方向へと進めてくれるのでは期待の持てるものとなりました。



主催：ねたてのまちベースミーティング
協力：宜野湾市基地政策部まち未来課
企画：昭和株式会社/株式会社ちゅん

次回以降もさらにたくさんの方に参加いただき、市民の方々に参加いただき、素晴らしい場を一緒に作っていただきます。(編集委員会)

・普天間基地跡地利用計画 市民参加の取り組み方法を考える分科会

NBMまちづくり分科会

【提案整理表】

福祉分野



福祉

照屋裕太 / 琉大
「基地フェンス沿いウォーキングで身近になる」
大城美寿々 / 琉大
「photo message コンテスト」

景観

梅澤孝徳 / 冲国大
「フィールドワーク+座談会」を通して、歴史と自然の関わりを大切にしながら話し合いを実施。宜野湾市の景観を大切にした跡地利用を考える。

歴史

仲地祐起 / 琉大
比嘉吉志 / 琉大
宜野湾市のリーダーとして活躍した桃原亀郎さんを題材とした劇を実施。歴史を知り、魅力を再発見する。

自然

重政佑貴 / 琉大
品川玲央 / 琉大
「科学教育を通して跡地利用を考える」ターム畑を作るなどの農業体験を学生主体で実施。子どもでも跡地利用に参加できる。

観光

東當咲智 / 琉大、与那覇南美 / 琉大
「じのーん体験型まちまーい」を通して、市民の方たちが自発的に宜野湾市の魅力を発見しながらまちづくりを考える。

NETATE
Base
Meeting
2017

図：まちづくり新聞

4) NBミーティングとしてのまとめ

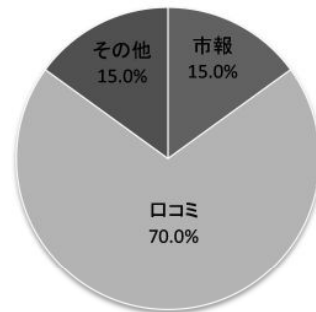
- ・大学生という今後を担う若い世代に普天間飛行場の跡地利用に繋がる提案をもらい、それを分野関係者や市民と一緒に検討できた事で、跡地利用に向けた意識啓発や考えるキッカケに繋がったと思う。
- ・今後、「伝える」という事にもう少し重点を置いた活動にしていく。具体的には、分科会から若者が普天間飛行場の跡地利用に関わる入口が見えた。次の世代に繋がる、参加学生世代の入り口が見えている。従って、提案学生に実施してもらう必要があると思う。NBミーティングの役割としては、そこから出た意見の中でまちづくりに活かせるものは何かと結果を考えてまとめていく事であると思う。
- ・「NBMまちづくり分科会」では約30名が参加した。これだけの人に参加してイベント実施できた事は素晴らしいと思う。これからの活動をどうしていくかと考えたとき、一口にこうしたらいいと言えるほど簡単な事ではないと思う。これからも積み重ねていく中でいろいろな人との出会いや場面を体験する事がNBミーティングとしては重要ではないかと思う。

5) 終了後のアンケート

1. 本日の NBM まちづくり分科会についてどのように知りましたか。

①. 市報 ②. 口コミ ③. フェイスブック ④. その他 ()

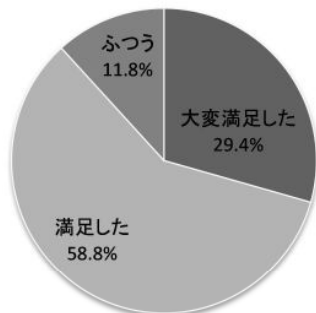
選択肢	回答数	構成比
市報	3	15.0%
口コミ	14	70.0%
フェイスブック	0	0.0%
その他	3	15.0%
無回答	2	-
計	22	100.0%



2. 本日の NBM まちづくり分科会の満足度について教えてください。

①. 大変満足した ②. 満足した ③. ふつう ④. やや不満 ⑤. 不満

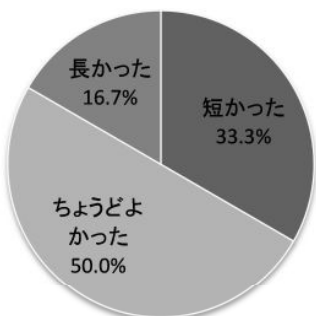
選択肢	回答数	構成比
大変満足した	5	29.4%
満足した	10	58.8%
ふつう	2	11.8%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	5	-
計	22	100.0%



3. 本日の NBM まちづくり分科会の時間についてどのように感じましたか。

①. 短かった ②. ちょうどよかった ③. 長かった

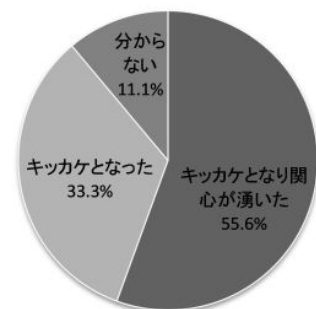
選択肢	回答数	構成比
短かった	6	33.3%
ちょうどよかった	9	50.0%
長かった	3	16.7%
無回答	4	-
計	22	100.0%



4. 普天間飛行場返還後のまちづくりを考えるキッカケとなりましたか。

①. キッカケとなり関心が湧いた ②. キッカケとなった ③. 分からない

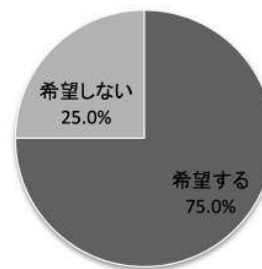
選択肢	回答数	構成比
キッカケとなり関心が湧いた	10	55.6%
キッカケとなった	6	33.3%
分からない	2	11.1%
無回答	4	-
計	22	100.0%



5. 「ねたてのまちベースミーティング」の会議に参加（見学）を希望しますか。

①. 希望する ②. 希望しない（理由： ）

選択肢	回答数	構成比
希望する	9	75.0%
希望しない	3	25.0%
無回答	10	—
計	22	100.0%



参加しない理由（3件中2件記載有）

- ・他にやりたい事があり、時間をとれない
- ・忙しいので厳しい

6. 意見・感想をご自由にお書きください。

- ・フェイスブックが足りてなかったと思われる。もっと見学者の学生がほしかった。もっと宜野湾市で大々的に取り上げて欲しい。
- ・NBMで、普天間飛行場の跡地利用について各分野から案が沢山あり、知識が身に付いた。
- ・参加して企画する事で自分として、宜野湾、“跡地利用”について考える事ができた。
- ・3年目となる活動を知らなかった自分が情けない。難しい課題だけにまだ安易に決めてはいけない。（広く限りなく）市民だけの問題ではない。
- ・全体的な印象として“どうしたら宜野湾市を宜野湾市民が好きになるか”という事が中心であると思った。市について考える際、宜野湾市市民の暮らしやすさ、“生活”をどう考えるかが必要なのではと感じる。現在、生活が苦しい世帯をどう救い、市民の間に支えていくか、その一つの手段として普天間基地の跡地利用が考えられればよいと思う。
- ・多様な分野から宜野湾を知れたので大変勉強になった。また是非参加したい。
- ・期待以上に考えさせられた。新鮮な意見が沢山聞けた。全体でのフリートークのような時間がもっとほしかった。楽しかった。
- ・是非各分野の計画を進めてもらいたい。
- ・出た提案をブラッシュアップして実現されるのであれば、とても素晴らしい企画だったと思う。NBMの方や他分野の方と話を聞けただけでも満足できた。
- ・提案した学生として、今回の取組みに参加して、普段なら触れない知識を知り、アウトプットのため膨大なインプットができて大変視野が広がった。
- ・この会に参加した事で、基地の跡地利用の状況を知る事が出来た。大学で学んでいる事が社会にフィードバックできる事を学べた事も良かった。

- ・ NBMの活動をもっと市民に広報してもらいたい。若者の参加は評価する。
- ・ 色々な分野からのまちづくりが聞けて良かった。
- ・ 学生と市民が同じまで考える姿に感動した。

(3)「まち未来だより」の作成・発行

1) 取組みのポイント

市民を対象とした情報誌「まち未来だより」による情報提供を行い、情報発信媒体としての確立を図る。また、跡地利用に向けた現在の進捗状況等に関する情報提供を行うとともに、NBミーティングの認知度向上に向けた活動の周知等を行う。

2) 情報発信の内容

回 数	発送時期	主な掲載内容
第5号	平成29年2月	○報告・紹介事項 ・ 「NBミーティング」の紹介 ・ 沖縄県と宜野湾市の共同調査の普天間飛行場跡地利用計画進捗状況の報告 ○告知事項 ・ 市民と学生を対象とした「NBMまちづくり分科会」実施のお知らせ
第6号	平成29年3月	○報告・紹介事項 ・ NBMまちづくり分科会の概要報告 ・ 「全体計画の中間取りまとめ」配置方針図の紹介 ・ 普天間飛行場跡地利用に関するプロモーションビデオの紹介

(4) ホームページの更新

1) 取組みのポイント

市外・県外に対して広く普天間飛行場跡地利用に関する取組み状況等を周知するため、跡地利用に係る行政側からの情報や若手の会、NBミーティングの活動状況等の情報をまち未来課のホームページに掲載、更新を行った。

2) 主な情報更新内容

- ・ 本業務の内容
- ・ 今年度の取組み経過
- ・ 若手の会の活動状況（今年度の活動概要、活動年表の更新等）
- ・ NB ミーティングの活動状況（今年度の活動概要等）
- ・ 地権者支援情報誌「ふるさと」第 44～45 号をバックナンバーとして掲載
- ・ まち未来だより第 5～6 号を掲載